

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、おやじの会
 すずの会、一葉会、青少年指導員、
 地区民児協、地区社協ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局
 代表



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから10年目、子どもたちの思いに応じて「あいさつの輪」、
 さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

あいさつは「心の窓」

野川中学校 校長 堀川 芳夫

お世話になった先生からこんな言葉を教えて頂きました。あいさつは、本当に大事、あいさつは「心の窓」だからねと繰り返し私に語っていました。

出張のない日は、この言葉を思い出して少しの時間ですが、朝、正門に立ち登校して来る子どもたちとあいさつを交わしています。多くの子が元気よくあいさつをしてくれて、とてもさわやかな気持ちになります。あいさつ運動が根付いている成果だと感じています。中には少し元気のない子もいます。何か悩みでもあるのかな、体調が悪いのかなと心配になります。あいさつは、その子の状態を表している「心の窓」だとするとせめてこちらからは、笑顔で「心の窓」を開いて「おはようございます」と声を掛けるようにしています。

地域の皆様と同様に野川の子どもたちをと先ずは、あいさつを交わすことから繋がり温かく支えていきたいと思っています。



西野川小学校 心にひびく朝のあいさつ

心に響く あいさつ

西野川小学校 教頭 水谷 峰幸

「おはようございます。」しっかりと顔を向けて、満面の笑みをうかべながら。

西野川小学校に赴任して、5か月が経過しましたが、この間に本当に素敵なあいさつと出会うことができました。その子はしっかりと顔を見て、常に笑顔いっぱい、自分からあいさつをしてくれます。朝、その子と出会えるととても良い気分になり、心に温かな風が流れてくるような感覚を覚えます。「なんてさわやかなあいさつなんだろう。こんな素敵なあいさつを自分自身はできているだろうか？」と自問させられるほどです。また先生の前にきて、立ち止まり、しっかりと目を見てお辞儀をしながらあいさつしてくれる子。とても礼儀正しく、すがすがしい気持ちにしてくれます。あいさつ以外にも必ず声をかけてくれる子や元気いっぱいな声であいさつしてくれる子。その子達からは、大きなパワーをもらっています。そんな一瞬の声掛けで、相手との距離を縮め、心に響きわたるあいさつの力。今、改めて強く感じています。

おとうさんと一緒に“うどんづくり”に挑戦！

創設20周年を迎える「おやじの会」

子どもたちに背中を見せながら、家庭・学校・地域のつながりを大切に、実践している「おやじの会」。今年で創設20周年を迎え、感謝・感謝！

この6月、会のメイン事業の「親子でうどんづくり」を西野川小学校で開催。当日80組余りの親子が、朝の9時組と11時組の二班に分かれて挑戦！

小麦粉に水を入れ、一通りこねるまでは、かなりの力仕事、その後生地を足踏み、めん棒による伸ばし作業が続く。初めての挑戦なのか、手引書を見ながら悪戦苦闘しているお父さん！見るに見かねたおやじの会のメンバーが手助け、今まで傍で不安そうに見ていた子どももほっとした様子で笑顔に戻りお手伝い。

何人かのお父さんから「お父さんは仕事で忙しいので、今日のうどんづくりは、すごく楽しい！」という声が聞かれました！最後におやじの会の名物“おじさん”、秀さん特製の麺つゆで、美味しいうどんをいただき、笑顔、笑顔の一日でした。(事務局)



水を入れてこねる労作業大変！



支え合う地域コミュニティづくりを

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



地震! グラッ!! ときたらどうしますか?

9月4日 防災訓練

9月4日(日)、野川地域の三つの小学校の避難所運営会議主催の「防災訓練」が、野川地域の町内会・自治会等の協力で開催されました。



シェイクアウト訓練

西野川小学校では、PTAやおやじの会、野川分団などの支援の基に、40名近くのお子さんを含め、老若男女200名近くの方が、今大地震が起きたらどう対応したらよいのか、シェイクアウト訓練、簡易トイレや簡易ベットの組み立て方、区役所職員による熊本震災の事例を踏まえた防災出前講座、防災クイズ、炊き出し等を通じて学び合いました。

特にシェイクアウト訓練では、大地震の際のケガの大半は家屋の倒壊や落下物などが原因と言われていることから、全員が体育館のこの場で、亀ヶ谷リーダーの指導の基に、自分の身を守る最低の安全行動として、60秒間、体を「まず低く」して、「頭を守り」、「動かない」の訓練をし、体で覚えることの大切さを共有しました。(事務局)

あいさつを継続しよう!

野川小学校 教頭 菅原 隆宏

「おはようございます。」毎朝、正門から子ども達の元気にあいさつをする声が聞こえてきます。本校では、課業日に輪番で1年生から6年生までの各クラスとふれあい委員会の子供達が、登校してくる子ども達一人一人をあいさつで迎えます。どのクラスの子とも達もさわやかな大きな声で、表情生き生きとあいさつする姿がみられ、すがすがしさを感じます。

あいさつは、心を開いて相手に歩み寄るという意味があります。1年生の時からあいさつを積み重ねてきている子ども達は、授業中でも自分の心を開き、相手の言葉をしっかり聴いたり、自分の思いを伝えたりし

て、話し合いがとても上手にできます。また、相手の心に歩み寄ることができるので、話し合いで友達をひとりぼっちにはしません。

あいさつすることで、認め・認められる人間関係が成り立ち、学校生活において良好なコミュニケーションをとることができます。より仲の良い野川小になるようにあいさつを続けたいと思います。



野川小学校 急がなくても大丈夫だよ!

心待ちにしていた寿楽園“納涼祭”!

野川台自治会と共催

野川台の夏の風物詩、寿楽園納涼祭は、今年で10年目を迎え、施設の入居者とその家族、そして地域の人との触れ合いの場として定着しています。



夕方、屋外の架設ステージでは、今年も県

地域で楽しい演奏をめざして!

吹奏楽コンクールで金賞に輝いた野川中学校吹奏楽部の皆さんによる誰でもが一緒に楽しめる「宝島」などすばらしい演奏や地域の子供達による元気はつらつとした「和太鼓」が響き渡るなど、アンコールの声が随所からかかるほど盛り上がっていました。この日を指折り数え、心待ちにしていた入居者もお孫さんやご家族に囲まれ、にこやかな笑顔が印象的でした。一方模擬店のコーナーでは、地域の方が、浴衣姿のお子さんやお孫さんと一緒に焼き鳥やたこ焼きをほおばっている微笑ましい姿…。最後は、恒例のハッピー姿の施設の若手による「よさこいソーラン」で締め、それぞれの思いをもって家路についた夏の楽しい一日でした。



野川中学校体育祭、のり面に張られたブロックテーマを背に応援合戦



ひとことで みんなの顔に 花がさく

—— 人と人との心をつなぐ ——



あいさつでみんな笑顔！

わたしは、いつもパパとママにおはようをいいます。みちで、おともだちがあいさつしてくれると、うれしかったです。こうやって、おはようをいえるようになりました。
(南野川小学校 1年 やまさき まな)



わたしは、いつもちいきの人がまい日手をふって、あいさつをしてくれます。わたしはちいきの人とあいさつをしたらきもちがはれたのでこれからもあいさつをいっぱいして、みんなのえがおを見たいです。
(南野川小学校 2年 福島 里桜)

あいさつをすることで、気分が良くなり、みんなが関わり合えることは、良いことだと思います。このあいさつ運動をきっかけに、話したことがない人にあいさつできるように、とても気分が良かったです。
(野川小学校 5年 関 愛和)

あいさつ運動をすると、つかれやだるさがふきとんでとても気持ちがいいです。これからもあいさつ運動を積極的にがんばります。
(野川小学校 5年 白井 波平)

僕はあいさつ運動をすることが良いと思います。一、二年生の時は人にあいさつされても返せませんでした。でも今ではあいさつ運動のおかげで、自らあいさつできるようになりました。なので、あいさつ運動を続けたいと思います。
(西野川小学校 6年 前田 将英)

あいさつは、老若男女問わず誰もが言葉と気持ちでコミュニケーションの取れるものなので、地域全体を明るく元気にしてくれます。僕も、誰かにあいさつをかけられた時には、今日の気分や調子も良くなるので、これからも積極的にします。
(西野川小学校 6年 山田 悠斗)



あいさつは心の窓！ 校長先生も参加

あいさつの力

生徒会本部書記 3年 岡部 晋路

「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」。普段の生活の基本とされるあいさつは、相手とコミュニケーションをとる上で、必要不可欠だと思います。野川中学校では、毎週月曜日の朝に生徒会本部やサミットメンバーを中心に、あいさつ運動を行っています。週末明けで、少し気が重くなる月曜日の朝。そんな気分の中で、明るく、元気な声のあいさつで声をかけられたらどうでしょうか？ その一週間を頑張ってみようと思いませんか？ あいさつは、朝からしっかり活動するための原動力になるのです。私はあいさつ運動を通して、周りの人を元気づけられたと思います。あいさつが持っている力を大切にしていきたいです。

「おはようございます」～9文字の意味

南野川小学校 教頭 大窪 誠

毎朝、笑顔と笑顔であいさつができたらいいなと思います。でも、大人だって、そういう気持ちになれない朝があります。体調の悪い日は、なおさらです。さて子供だったら？ 無理に笑顔をつくらなくても、カラ元気を出さなくても良いですよ。お家の人に叱られた朝は、ちょっと泣きそうな顔をしながら…。友だちと仲直りが滞っている朝は、声だって、小さくなるでしょう。明日、元気になるればOKです。だから、朝の正門で、子どもたちにあいさつをする時には、目を見るようにしています。

「今日も、笑顔が輝いているなあ。良い一日になるね。」「最近、目に力があるぞ。楽しいことがあるんだろうな。」「表情がないなあ…心配だなあ。声をかけてみよう。」「昨日より元気がないぞ。でも、しっかり日を見てあいさつができたから、きっと、だいじょうぶ！」

南野川小学校では、教職員が順番に朝の正門に立っています。こんな気持ちであいさつをしています。



南野川小学校 今日笑顔と笑顔

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

卒業式！ 将来の夢を自分の言葉で！

3月18日、西野川小学校の第34回卒業式が行われ、94名の児童が保護者、在校生、恩師に見守られ旅たちました。

ステージで児童ひとり一人が、白坂校長先生から、卒業証書をいただく際、臆することなく、自分の言葉で、自分の将来の夢や希望を大きな声ではっきり話す姿は、頼もしく感動的でした。臨席された保護者の方の中には、「昨日」入学したと思っていたわが子が、晴れの日に、しっかり成長した姿を目の前で見て、感極まる思いの方も多くいらしたようにお見受けしました。

児童の夢や希望として、野球やサッカーの選手、小学校の先生、保育士、大工、ついで介護士、看護師、薬剤師、美容師、さらには、医師、システムエンジニア、ゲームの開発者、声優、ドッグトレーナーなどを挙げ、新たな一歩としていました。(事務局)



春の運動会

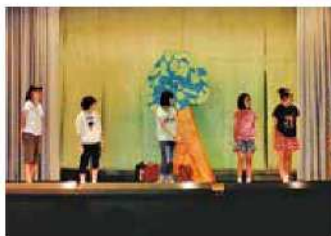


演劇部 県大会めざして！

私たちの野川中学校演劇部は、一年生から三年生まで総勢約三十人で活動しています。毎年県大会出場を目標としており、芸術祭や連合文化祭、春公演に

向けて練習をしています。また、今年は新たに夏公演も行い忙しい日程で活動していますが、県大会に繋がる練習が増えたと感じ、発表できたこと、とても嬉しく思います。どの発表でも言えることですが、劇を見て頂いた方にテーマや感動が届けられるような作品作りを目指して努力しています。多くの方々に見てもらいたい作品ばかりです！興味のある方はぜひ見に来てください！今後とも精一杯頑張っていきます。応援のほどよろしくお願いします。

(演劇部部長 3年 吉村 百萌)



熱演！

福祉まつりを支える中学生ボランティア！

宮前第一地区社協主催の第19回「福祉まつり」が春に行われました。

今年も野川中学校の福祉厚生委員会のメンバーを中心に約20数名

の生徒が、春休みにもかかわらずボランティアとして参加して下さいました。机やイス運びから福祉コーナー等でスタッフと一緒に動いていただき、その笑顔と優しい対応に多くの参加者から楽しさとお褒めの言葉をいただきました。そんな中で、疑似体験コーナーを担当した生徒からは「ゴーグルを着けたり、足に重りをつけて歩く怖さは、想像以上。また車椅子担当の生徒は、「実際の砂地を想定した運動用マットでの走行やスロープを車椅子で乗ったり、押したり体験してみて、初めて乗っている人の不安になる気持ちが良く分かりました」という声が聞かれました。

(事務局)



車椅子の難かしさ！

柔道部 県大会で健闘！

市大会では男子は準優勝、女子は3位で県大会出場を決めました。男子団体の決勝では、富士見中に3対2で負けてしまいました。この悔しさの全てを県大

会にぶつけていこうと思い、普段よりみんな真剣に取り組んで、とてもいい雰囲気です。県大会を迎えました。

県大会では、1回戦を勝ち、2回戦の桐蔭学園にも勝利し、ブロック決勝にコマを進めました。対戦した茅ヶ崎第一には、負けてしまいましたが、関東大会出場決定戦にまわりました。その1回戦は、相洋中学校に勝ち、あと一回勝てば関東大会出場だったのですが、次の追浜中学との対戦は、ケガでメンバーを欠き、勝てませんでした。惜しくも関東大会出場は逃しましたが、県で5位になり、今までの練習の成果を出すことができましたと思います。これからも応援よろしくお願いします

(柔道部部長 3年 渡邊 広海)



笑顔！

編集後記

子どもたちの声に応じて始まったあいさつ運動、今年で10年目。今日、団塊の世代が、全員75歳以上になる2025年に向け、全国ベースで「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。そうした状況下で、あいさつ運動は、気付き、見守り、支え合うコミュニティ形成に少なからず役割を果たしてきていると受け止めています。引き続き、皆様のご理解とご協力を願います。

(日高、原、狩山、辻本、櫻井、後藤、岩本、前之園)